

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月21日更新

事務事業名		第67回熊本県民体育祭開催支援事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	上原 哲也
	施策	22	生涯スポーツの推進				所属課	生涯学習課	担当者名	山田 清
	基本事業	71	スポーツへの参加機会の提供				所属班	スポーツ振興班	(内線)	1518
予算科目		会計一般	款10	項6	目1	事業連番11550	法令根拠	スポーツ基本法 熊本県民体育祭開催基準要項	成果優先度評価結果	—
								コスト削減優先度評価結果	—	
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 23 ~ 24 年度) ☒ 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	熊本県民体育祭は、広く県民の間にスポーツを普及し、県民の健康増進とスポーツ精神に高揚を図り、明るく豊かな県民生活の発展に寄与する。県民体育祭は郡市持ち回りで開催しており、平成24年度は菊池郡市で開催する。
【業務の流れ】	第67回熊本県民体育祭菊池大会実行委員会への負担金支出。実行委員会各種会議等への出席。合志市会場となる競技の会場協議、及び競技団体との協議。競技会場への役員派遣及び運営。
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	第67回県民体育祭は、菊池郡市で行われるので、選手から大会運営がよかったと思われる。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
【前年度内容】合志市で行われる競技会場の選定、協議を行った。準備委員会へ負担金を支出した。			
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 職員出向	人	県民体育祭菊池大会終了による負担金の減	
→ イ 実行委員会設立	件		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
県民	人	→ ア 体育祭に参加、協力した人数	
		→ イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
スポーツを普及し、県民の健康増進とスポーツ精神の高揚を図る。	人	→ ア 県民体育祭に参加した人数	
		→ イ	
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠 熊本県民体育祭に、監督・選手・役員として参加した人数を設定した。			総トータルコスト 全体計画 ～24年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア	人	0	1	1	2				
	イ	件	0	1	1	1				
②対象指標	ア	人	0	333	8,000	10,000				
	イ									
③成果指標	ア	人	0	160	6,000	10,000				
	イ									
投資 入 費 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円		1,982	9,429	8,086			
	(A)事業費計		千円	0	1,982	9,429	8,086			
		(A)のうち指定経費	千円	0	1,982	8,539	7,207			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数		人	2	3	2	5			
		延べ業務時間	時間	10	68	100	320			
	(B)人件費計		千円	41	274	403	0			
トータルコスト(A)+(B)			千円	41	2,256	9,832	8,086			

事務事業名	第67回熊本県民体育祭開催支援事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	-------------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度的事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☐ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 平成24年度に県民体育祭をおこなうことが目的であるので成果向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 他に、類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 第63回玉名大会を参考に算出しているが、経費の削減に努める。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 各市町の負担は、平成17年度国勢調査を基に算出しているので公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

--

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						